

会長賞

2021年
6月度表彰

今月は(株)さわやか倶楽部の介護施設と(株)ボナーが運営するカラオケ店へ、お客様やそのご家族様から感謝のおたよりをいただきました。

① グループホームさわやかむなかたのもり (福岡県宗像市)

さわやかむなかたのもりの皆様

入居者様の息子様、娘様より

母の存在感を大切に日々接していただき、母の笑顔を見ることがたくさんありました。そして最後の眠りについた後やかな表情に、私どもは救われました。皆様の温かい介護とふれあいのなせること、皆様が見守っていただける中で、父のいる天国に旅立ってまいりました。本当に有難うございました。

古賀美代子(ホーム長)様

入居者様の息子様より

母と古賀さんとの邂逅、そこからの母とのふれあい、まだ知らぬよさを導き生きるよろこびを短歌や俳句に秘め、幾やかに永遠の眠りにつきました。母のあの表情に私たちは救われ安堵いたしました。本当に感謝に堪えません。有難うございました。

《施設からのコメント》

中野頼子様は、二〇〇歳と八三日の人生。さわやかむなかたのもりでその生涯を閉じられました。八年余りのグループホームでの生活は、たくさんさんの思い出に溢れています。

九七歳、乳がん切除の手術後は、周囲の心配をよそに驚くほどの回復力を見せてくださいました。コロナ禍の中で二〇〇歳のお誕生日、入居者の方々のほじける笑顔の中でお祝いさせていただきました。子どもさんやお孫さんたちが訪れてのふれあいの日々は、緩やかに別れを惜しむ愛しみの時となりました。

最後のお別れの日、入居者様職員ともに「中野様、感動をありがとうございます」と拍手でお送りさせていただきました。ご自身の生い立ちや学歴、子どもさんたちのことを自慢されるでもなく、苦労話や恨み言は一切言わず、いつも優しい笑顔を向けてくださった中野様。生きること、命の尊さを最後まで身をもって教えてくださいました。出会いに感謝！ありがとうございます(古賀美代子)

② コロッケ倶楽部川宮店 (福岡県田川市)

株式会社ボナーの皆様へ・コロッケ倶楽部の皆様へ

常連のお客様より

いつもいつもコロッケ倶楽部でお世話になっています。コロナになる前はたくさん歌を歌いましたが、私も昨年の五月くらいからアルバイトに行き始めて、カラオケに行くのも減りましたが、行けるときは朝十時から行っていました。

川宮店の店員さんは皆さん親切です。店長さんは特別親切です。コロナが流行っていますので、友人とは全く行くことができません。私は1人カラオケの時は個室がともも好きで落ち着くので1人で過ごしています。声を出すのはとても体いいのでカラオケが好きです。

コロナが収まりましたら、川宮店はぜひ営業してください。田川にも他にカラオケ店はあるのかもしれませんが、私は川宮店しか知りませんが、川宮店がなくなったら歌の練習ができません。

(中略)

コロッケ倶楽部川宮店の方は、トイレもきれいに掃除してくださっています。コロナが早く収まって川宮店に行ける日を待っています。

《社員からのコメント》

常連のお客様からお褒めのお手紙をいただき、嬉しかったです。この内容を全スタッフと共有し、これからも清掃や接遇をしっかりと行なって、すべてのお客様に愛される店を作っていきます。

(店長・吉松 祐輔)



※写真およびお手紙は、お客様ご本人およびご家族様の許可を得て掲載しています。



おたより
ありがとうございます！
ごさいます！

イメージキャラクター募集



応募要項

応募資格

ウチヤマグループで働く皆さん
(社員・パート・登録 含む)

応募期間

2021年6月28日(月)まで

応募規定

A4用紙にカラーで作成

記入必須項目

- ① 作成者の勤務先・氏名
- ② キャラクターの名称
- ③ キャラクターデザイン
(カラー必須・手書きでも可能)
- ④ キャラクターに込めた想い・コンセプト

※作品は返却しません。※すでに存在するデザインは不可。
※デザイン・名称・色彩などは必要に応じて修正・変更する可能性があります。



提出先

本社 小橋宛

E-mail kobashi@uchiyama-gr.jp

※ PDFデータにてメール送信



ウチヤマグループ 創立50周年 記念誌

制作決定!

6月4日にウチヤマグループが創立50周年を迎えたことを記念して、グループの歴史を振り返る記念誌を発行することが決まりました。6月末までには編集委員会を立ち上げ、キックオフミーティングが行われる予定です。過去の資料を集めながら、創業からの事業の移り変わりや社員の想いなどを冊子にまとめ、年内には発行・配布する計画です。過去の歴史がわかるような古い写真や思い出のエピソードなど、記念誌に載せたい資料等をお持ちの方は、本社までご連絡ください。

また、創立50周年を記念してさわやか倶楽部のイメージキャラクターの制作も決定しました。こちらはウチヤマグループの従業員を対象として社内でデザインの公募を行い、本社での審査を経て7月には正式に発表される予定です。詳しくは左記の応募要項をご覧ください、どんどんご応募ください!

キラリ一等星

光り輝くスタッフのご紹介!

前職は飲食業をしていましたが、夜が中心の仕事で体を壊してしまいました。その際に祖母から「今度は昼間の仕事で世の中の役に立つことをしなさい」と言われたことがきっかけで、9年前からさわやか行橋館で働くことになりました。幼少期は祖父母に育てられましたし、もともとお年寄りが好きなので、介護業界で働きたいと思いました。

入居者様から「あんたがいつも笑わせてくれるから、長生きできる」など言われると、非常に嬉しく思います。いつもお世話させていただいて入居者様から励ましの言葉をいただいたり、私の思いが伝わったと感じた時には、介護の仕事をしていて良かったと思います。

小学校から大学までサッカーをしていました。小・中学校ではキャプテンを務め、今でも社会人サッカーをしています。家族でキャンプに行ったり、バーベキューをすることも好きです。さわや



主任

みや ふさ たか ふみ

宮房 卓史さん [33歳]

さわやか行橋館
福岡県行橋市



か行橋館の仲間と食事会でお酒を飲むことも大好きです。

これからやってみたいこととして、短期的な目標は、今一生懸命に取り組んでいる電子記録をしっかりと定着させることです。少しずつ施設全体としての業務効率も向上しているので、必ず定着できると信じています。また、現在はコロナ禍で盛大なイベントができませんが、状況が落ち着いたら夏祭りや花火大会など、入居者様と共に楽しめるイベントを以前のように盛大に行いたいです。

個人的な目標としては、施設の管理者を目指し、施設をしっかりと引っ張っていけるように精進していきます。今年7月に参加するアイウィルの研修を通じて、人として成長して帰ってきたら、教わったことを施設の職員にも伝えていきたいです。さわやか行橋館の最高の仲間達と今まで以上に連携を取り、行橋館をもうワンステップ上の施設にしていきたいです。

LIFE MAP ライフマップで 生きがい発見

story
21

深い愛情で結ばれた家族

さわやか宗像館 [福岡県宗像市]

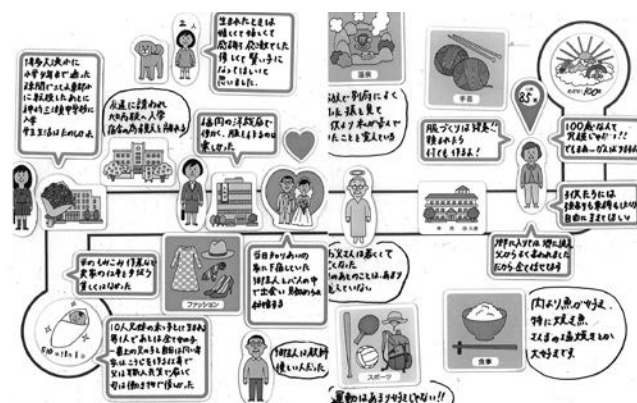
荒木ツヤ子様は昭和10年12月生まれの85歳。新元号の令和に変わった興奮さめやらない2年前の5月末に、さわやか宗像館へ入居されました。白髪一つない綺麗な黒髪が印象的で、話しかけるといつもにこやかに微笑んでくださる明るい方です。長く過ごした佐賀県から移ってきたにも関わらず、辛さや苦しさを顔に出すことなく、いつも逞しく生活を送られていました。



そんな荒木様が体調を崩されたのは今年の初めでした。一時は生死をさまよい、当館への復帰すらも危ぶまれましたが、何とか一命を取り止め無事、宗像館に戻ることができました。退院後は車いす生活を余儀なくされていますが、持ち前の明るさで懸命にリハビリに取り組み、以前の生活を取り戻しつつある中、入居されてから2回目のライフマップによる聞き取りを行いました。

荒木様のルーツは佐賀県にあります。10人兄妹の末子として生を受け、お父様が生業としていた麴屋を手伝いながらすくすくと成長されました。戦争で疎開を強いられた幼少時代も「貧しくはなかったし悲しくもなかった」と笑って振り返っておられました。お父様の厳しさやお母様の優しさを受け、遅い幼少期を送られたのでしょうね。

高校を卒業すると、興味のあった服作りを職にしたいと、知り合いの洋裁店に就職されます。仕事については



「今でも服作りはしたい、天職だったと思う」と楽しそうに語っておられました。退職した後も趣味で続けておられたようで、話の節々から心残りのようなものも感じました。

20代前半までご主人と出会い結婚します。当時はまだ珍しかった恋愛結婚で「バスに居合わせて見初められた」と照れ臭そうにおっしゃっていました。2人の子宝に恵まれ「優しく賢い子に」と願いながら専業主婦として家を守り続けられました。何を隠そう、その子宝の一人が、現在さわやか倶楽部の運営指導部で活躍している原田裕子さんです。

原田さんから見た荒木様は、子どもの意志を尊重する優しい母で「女性でも手に職を持たなければならない」と当時では珍しい考え方をお持ちであったそうです。自分の人生の中の未練や想いを子供らに託したのかもしれないね。



娘の原田さん、宗像館のアイドル犬ムナちゃんと一緒に

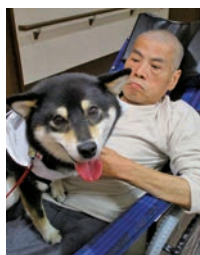
元々趣味が少なく、今もやりたいことは特になという荒木様。一見、何事にも無関心に見えますが、それは「郷に入りては郷に従え」というお父様に言われた言葉を守っているからだそうです。自分の身が危ない時でさえ娘の仕事を案じ、今も「子どもたちには強制も束縛もしたくない。自由に生きてほしい」と語られたように、子としても親としても深い家族愛を持った方であると感じました。

これからもご家族の深い愛情に囲まれながら幸せに生活できるよう、職員一同で精一杯お手伝いさせていただきますね。
(井元 雄基)

※写真・文章は、入居者様ご本人およびご家族様の許可を得て掲載しています。

またまた出勤

またまた臨時セラピー犬の琥珀ちゃんが出勤しました。今日は2階、3階のフロアにもお邪魔をしてい～っぱい入居者様のお心を癒してくれました。今日も立派なセラピー犬として大活躍！おかげで入居者様も職員も笑顔笑顔。(白鳥 ゆき)



居酒屋ひだまり食堂 開店

居酒屋ひだまり食堂を開店しました。夕方から料理の準備を始めました。なんよう館名物杉浦主任の卵焼きを作成中…。本日のメインディッシュは、SNSで大人気のペッパー風ランチです。他にも串カツ、からあげ、焼きそばなど居酒屋で定番のメニューが並びます。

居酒屋と言ったら、ビールが付きもの。ノンアルコールビールですが皆様に楽しんで頂きました。全員揃ったところで、乾杯。皆様、思い思いに食べたいものを召し上がられます。

「俺は昭和一桁生まれの90歳…」など年齢の話で盛り上がってました。他には、なんよう館に入って何年たったなど話が弾んでいました。やはり男同士は酒を飲みながらですと会話が弾む感じがしました。来月は何を作ろうかな…。(徳田 美加)



さわやかだより

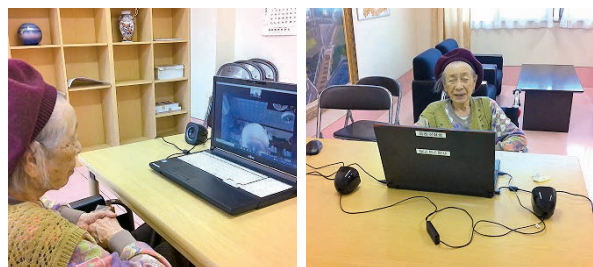


日々更新される
施設のブログから
一部をご紹介します！



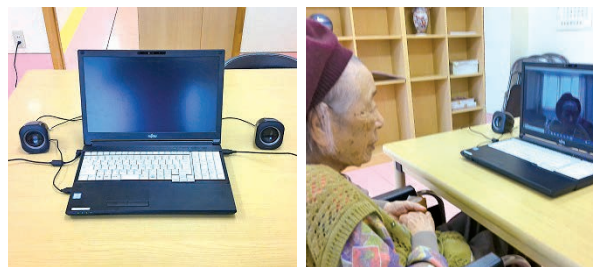
初めての オンライン面会！

先日、入居者様の息子様よりオンライン面会の申し込みがあり、リバーサイド西脇で初めてオンライン面会をさせていただきました。申し込みをいただいてマニュアル通りにパソコンの設定などをさせていただいたのですが、ちゃんと繋がるのかなど不安でした。



こちらは、オンライン面会開始5分前にパソコンの前にスタンバイしていただいている入居者様の様子です。パソコンの画面に自分が映し出され『えっ!』と驚かされていました。

息子様の顔がパソコン画面に表れ声が聞こえた瞬間に安心しました。入居者様も久しぶりに息子様の顔を見られ嬉しそうにされていました。声の方も聞こえにくくないか心配でしたが、外部スピーカーを設置させていただいていたので息子様の声もしっかりと聞こえました。



また、入居者様の声が息子様の方に届いているのかも不安でしたが、パソコンが声をしっかりと拾っていたので息子様の方にも届いているようで安心しました。

面会時間が15分と限られた時間でしたが、入居者様も息子様も沢山話をされ、今回実施できて大変良かったと思いました。(石田 武則)

大笑いの野菜収穫

中庭には大事に育てている野菜農園があります。ここでは9種類の野菜を真心を込めて育てお客様と一緒に収穫しております。

食べごろの野菜が出てきたということで、この感動をみなさんと一緒に共有するべく、いざ中庭へ…！土の上でバランスを取りながら踏ん張る姿に自然と応援の声も出ます。果たして結果は…なんとピーマンが一つだけ。これには全員で大笑いしました。



「野菜取りがこんなに楽しかったことはない」と言われ、とっても盛り上がったなど互いに笑顔を見せあい談笑しました。野菜の収穫時期が来たらもう一度みなさんと楽しく収穫したいと思います。(蛭川 麻衣)



作品作り

朝顔は日本で古くから親しまれている夏の代表花です。皆様も夏と言えば朝顔を思い浮かべるので作品作りを致しました。涼しく感じられるように、スダレに貼っていきました。たくさんの色の朝顔が咲いているようです。

朝顔の花言葉は「明日もさわやかに」です。花言葉の通り明日もさわやかに感じられるよう、入口に作品を展示いたしました。(戸田 香奈江)



びわ狩りをしました！

ちょっと早いかなあと思いましたが、綺麗なオレンジ色に釣られてびわを収穫しました。まだ少し色が薄いものもありましたが、皆様は上手に濃いものを選んで収穫できていました。



お三方は一気に仲良くなられて、元気いっぱい。ちなみに、お味は？「とっても甘いよ」とのこと。天気が良い日にまた収穫しましょう。(立野 さやか)



らっきょうの甘酢漬け

入居者様から「梅干だけじゃなくて、らっきょうも漬けたいねえ…」と話がありました。早速、近くのスーパーへ出掛けて、らっきょうの準備をしました。

入居者様が張り切って「らっきょうの皮むき」を手伝って下さいました。包丁をお渡しすると、上手に手際良く行って下さいました。

新入社員の石田さんが甘酢を作ってくれました。入居者様と職員の合作です。「美味しくなあれ…」とらっきょうに声掛けしました。楽しみがまた一つ増えました。(内橋 泰子)





ウチヤマがルーパで働く皆さんの日報をご紹介します！

日報賞



中村 恭子主任 [さわやか宗像館／福岡県宗像市]

今日は母の日ということで、レクレーションとして「麦畑」の歌と踊りを、池田さんとアレンジして行いました。東北地方の男性＆女性の格好をして、曲に合わせて振り付けたところ、入居者様方の笑いありで楽しんでいただけたようです。その後、女性の方に1人ずつ1輪挿しのカーネーションをお配りして喜んでいただけました。

私たち職員1人1人に毎日声をかけ、私たちの身体を気遣ってくださる方がたくさんおられます。その感謝の気持ちをこれからも元気に楽しく笑顔で過ごしていただけるよう、心を込めてお配りさせていただきました。女性の皆様と、来年の母の日も全員で楽しいレクレーションをすることを約束した1日です。



三浦 由美子施設長 [さわやかさくらのもり／秋田県秋田市]

昨日は皆既月食で、スーパームーンの皆既月食が見られるのは24年ぶりということでした。普段はあまりこういう話題には興味がないのですが、ご夫妻の入居者様が「24年前も自宅で2人で見たので、今回で最後になると思うから2人で見たい」というお話があり、ちょうど私が夜勤だったので、1階のホールの窓を開け、椅子に座って天体ショーを見ていただきました。あいにくの雲で、皆既月食が見えたのは後半からでしたが、とても感動されていました。私も嬉しかったです。

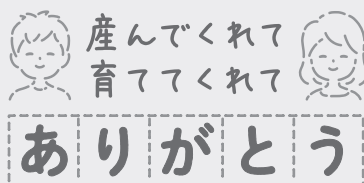


私の両親は佐賀県の出身で、私も高校時代まで両親、祖母、姉と佐賀で暮らしました。母はいわゆる「本家の長男の嫁」。祖母の介護、家事、子育てに専念する主婦でした。誰より早く起きて、誰より遅く寝ても、いつも元気で明るく振舞っていました。

私は子どもの頃から母に「〇〇してはいけない」と言われたことはありません。他県で進学し、卒業後も東京で仕事をしていた私には、ずっと「自分のいいようにしてね。仕事があるのだから休みも佐賀まで帰らなくていいよ」と言い続けてくれました。

その母が65歳の時に、父が69歳で急逝しました。その後10年、母は一人暮らしでしたが、75歳になった頃、徐々に認知症を発症しました。久々に帰省した私は、家事ができなくなった母の変わりようにショックを受けたものです。「もう一人暮らしはできん…」母が初めて私に言った弱音でした。それで私は東京から引き上げ、佐賀の実家で母と暮らすようになりました。

認知症が進むにつれて、母は衣食住に不便が出てきましたが、買い物と一緒にいくと私の



さわやか倶楽部 運営指導部

原田 裕子さん



お姉さん(左)、お母さん(中央)と一緒に

好物ばかりをカゴに入れるのです。認知症になっても娘の好物は覚えている、母の優しさは変わりませんでした。

それから4年経ち、姉一家が住む福岡県宗像市に引っ越すことにしました。その準備で母の荷物を整理していた時、私の手はハタと止まりました。長年母が使っていたバッグの底から、山盛りの宅配便の伝票が出てきたのです。送り手は私。私は東京から滅多に帰省しない言い訳に、たまに母へプレゼント便を送っていたのですが、その伝票すべてを母は捨てずに持っていたのです。「忙しいから帰省しなくていい」と労わってくれた母の、娘への愛情の深さを思い知り、なぜもっと早く帰ってあげなかったのかと泣けてきました。

宗像市に越し、母は「さわやか宗像館」に入居させていただき、そのご縁から私はさわやか倶楽部に就職させていただきました。現在母は、宗像館の職員さんのおかげで、とても穏やかに暮らしています。今の自分があるのは、父、母に産んでもらい、育ててもらったおかげです。心から、ありがとうございます。



さわやか和布刈式番館

叔父がお世話になっております。いつも何か事故や些細なケガ等のたにお知らせをいただき、経過等も詳しく御連絡いただき、感謝しております。また、吉田ケアマネジャーにも親身に配慮していただいております。門司と東京と離れていますし、コロナの現状でなかなか会いにも行けませんのでとても気がかりですが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

(東京都練馬区・原様より)



コロッケ倶楽部 天神南店

電話で予約したのですが、対応された女性スタッフさんが丁寧で、母も喜んでいました。受付の男性スタッフさんも親切で、安心して来店できました。音響も良く、お得に利用できたので、また喜んで来店したいと思います。(福岡県福岡市・橋本様より)



コロッケ倶楽部 霧ヶ丘店

マイマイフを持って行ったが、何度使用しても雑音が入っていた。店員さんが販売元にまで問い合わせをして聞いてくれたりして、結果的に線が悪いみたいで交換までしてくださった。すると今までが嘘みたいにクリアな音で、1人で4時間熱唱できました。対応してくれたお兄さんにお礼を言いたかったが、帰る時にはいらつしやなかったみたいで…。次会った時にはぜひお礼を言いたいし、霧ヶ丘店に通おうと思います。(福岡県北九州市・石田様より)





ウチヤマグループ創立五〇周年を迎えて

感謝の一日

ウチヤマグループは、今年の六月四日で創立五〇周年を迎えました。当日は、取引先をはじめ多くの方々が本社に来社され、激励のお言葉をかけていただきました。また、祝電やお祝いの花もたくさん届き、本社の雰囲気も一層華やかになりました。これまで多くの方々の支えがあつて、半世紀という長い年月をかけて仲間とともに成長できたことに、改めて感謝の気持ちが湧いた一日となりました。

ウチヤマグループは今から五〇年前、一九七二（昭和四六）年六月四日に、私が内山ビル株式会社を設立したのが始まりです。当初は貸しビルを中心とした不動産業で、当時の田中角栄首相が掲げた「日本列島改造論」による不動産への投資ブームが続ぎ、北九州、福岡、東京などに多くのビル建設を行いました。

時代が昭和から平成に入り不動産バブルが崩壊すると、多額の負債を抱えることになり、一時期は倒産を噂されるなど業績が悪化した時期もありました。しかし、一九九二（平成三）年から手掛けていたカラオケ事業（ロッケ倶楽部）のチェーン展開が順調に進んだことや、その後進出した飲食事業が成功したことから、経営危機を脱して再び軌道に乗って拡大を続けてきました。

二〇〇三（平成一五）年、かつて少年時代に、将来は医者になつて人生の先輩である高齢者のお役に立ちたいと願っていた私の想いは、介護分野への進出という形に変わり、社会貢献できる事業への本格的な参入が始まりました。翌年には株式会社さわやか倶楽部を設立し、介護付有料老人ホームを中心とする介護施設を全国各地に展開していきました。

その後、持ち株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立し、二〇二二（平成二四）年にはJASDAQへ念願の株式上場を達成。翌年には東証一部へ市場変更し、二〇二四（平成二六）年九月十一日に長年の夢だった東証一部上場を果たしました。

そして今年の四月には山本武博へと社長を交代し、新しい体制のもとで六月四日に創立五〇周年を迎えることができました。これもひと

えに、お客様からの温かいご支持、取引先の方々によるご協力、地域の皆様のご理解、そして社員やパート、アルバイトを含む従業員の皆さんの努力・研鑽と、そのご家族の援助のたまものであり、改めて深く感謝しています。

人との縁を大切に、社会に貢献しよう

創立五〇周年を迎え、色々な出来事・思い出がよみがえります。その中で、私が一番大切にしてきたことは「人との縁」です。現在お付き合いのある取引先の方々の中には、創業当時から長いお付き合いのある方もたくさんいます。特に「内山さわやか会」の会員企業の方々は、当社の業績が良い時も悪い時も変わらない姿勢で応援し、支えてくださいました。今、こうして五〇周年を迎えることができたのも、そして私たちがこうして仕事ができるのも、周りの方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、引き続き「社会貢献する」という使命感を持って、仕事に取り組んでほしいと思います。

五月一八日には、創立五〇周年を記念して、地元の「北九州市立医療センター」に五〇万円の寄付を行いました。新型コロナウイルス感染症と日々闘っている医療従事者の皆さんが安心して業務に携われるよう、お役に立てていただきたいと思います。また、福岡の地域経済誌「ぶくおか経済」の六月号には、当社の特集記事を掲載していただきました。今後も五〇周年を記念して、様々な場面で感謝の気持ちを外部の方々にお伝えできる機会を増やしていきたいと思えます。一つの区切りを迎えましたが、ウチヤマグループの歴史にとつてはまだまだ通過点です。これからもグループで一丸となり、各事業を通じて地域の発展や社会への貢献に努めていきたいと思います。



読んでみよう！

今月のオススメ図書は…



- 1 アンネの日記
(アンネ・フランク)
- 2 Numbers Don't Lie 世界のリアルは「数字」でつかめ！
(バーツラフ・シュミル)
- 3 トヨタの会議は30分
(山本 大平)

- 4 どうしても頑張れない人たち
(宮口 幸治)
- 5 うまれてきてくれてありがとう
(にしもと よう ぶん／黒井 健 一)

ワクチン接種

順調に進んでいます！

1. さわやかながれやま館 [千葉県流山市]

新型コロナワクチン接種が始まりました。5/25の第1回目接種はホームクリニック往診院のご入居様が対象です。2Fフロアの接種会場では皆さま待機中です。山仲ナースが優しく接種準備をお手伝いさせていただいています。傍らでは先生方が接種準備に入ります。初めてのワクチン接種、皆さまのドキドキ緊張感が伝わってきました。「ドキドキしますか？」との質問に全然平気と笑い飛ばされてしまいました。



順番に接種が進み、注射が大キライなご入居様の番になりました。涙が…やっと終わり、お隣のご入居者様へ「痛かったよ」「私は全然平気よ」次の女性のご入居者様もがまん・がまん頑張っています。ながれやま館は女性のご入居者様の方が頼もしいです。そして、最後の順番のご入居者様。皆さまの接種の様子を見ていたから早く終わってほしい、やっと終わりました。ほっと一安心です。

新型コロナウイルスのワクチン接種が全国でスタートしています。さわやか倶楽部の介護施設においても、入居者様や職員に対するワクチン接種が始まり、2回目の接種を終えた方も徐々に増えています。安心して日常生活やご家族様との面会ができる日が早く来ることを願って、7月以降も引き続き各施設での接種を進めていきます。



6/8には職員の第1回目ワクチン接種が始まりました。ラウンジでは職員が待機中です。ドキドキ初めてのワクチン接種ではありますが緊張感は感じられず、毛塚職員を中心に和やかムードです。

先生が到着しました。長根看護リーダーの指示で順番に接種がスタートです。問診を受けてから次々と接種が進んでいきます。そして、チョー忙しいスーパー施設長、出張中の神戸からワクチン接種のためにながれやま館へ帰って来ました。施設長は注射がキライです、痛そうなの表情は本当です。スーパー施設長でも苦手なものがあるんですね。この後、PCR検査もして、またすぐスーパーマンの様に神戸へ飛んで行ってしまいました。ちょっぴりさびしいけど…職員みんなで力を合わせて頑張っていますので、安心して行ってらっしゃい。

ご入居者様と職員のワクチン接種が無事に終わり、早くご家族様に安心をお届けしたいと思います。(藤島 真州美)

2. さわやかリバーサイド長岡 [新潟県長岡市]

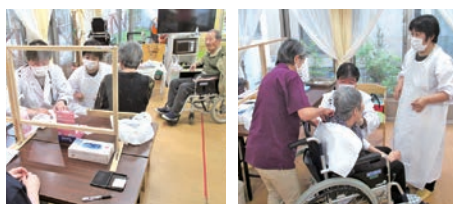
施設でコロナワクチンの予防接種がありました。2班に分けたうちの1班1回目の接種。痛みは？、副作用は？と、心配していましたが、お客様、職員、無事に接種を終えました。皆様腕を出しやすいう準備してくださって、スムーズに終わることができました。ご協力、ありがとうございます。痛がる方やなんともないとおっしゃる方、様々です。引き続き様子観察を行います。(矢沢 麻里子)



3. さわやかグループホームなすまち [栃木県那須郡]

昨日の夕方、ワクチン接種を行いました。皆さま落ち着いて受けられ体調を崩される方はおりませんでした。本日の中は、少しだるさを感じたり、腕の上がり方が悪いという方もおられましたが、熱を出される方は今のところおられません。

引き続き体調観察していきますのでご家族様安心なさってください。(佐藤 玲子)



4. さわやか枚方館 [大阪府枚方市]

新型コロナワクチン接種の1回目が始まりました。本日は5階フロアの入居者様が、さつきクリニックの先生に対応していただきました。職員も数名ワクチン接種しました。トップバッターは増田施設長。接種後は15分安静にしています。今のところ入居者様も職員も体調不良者なしです。ただ、腕が痛くなってきたという声も。ワクチン接種後もマスク着用、手洗い、うがい、消毒を徹底していきましょう。(渡辺 由依奈)



(株)さわやか倶楽部

今後の開所予定

名 称		定員・ベッド数	開所予定日
1 さわやかふくしまの里	[福島県福島市]	特定施設(50床)・ショートステイ(11床)	2021年 7月
2 さわやかあかしの里	[兵庫県明石市]	特定施設(50床)	2021年 7月
3 さわやかこおりやま館	[福島県郡山市]	特定施設(60床)	2021年 9月
4 (仮) さわやか横浜栄館	[神奈川県横浜市]	特定施設(67床)	2022年 3月
5 (仮) さわやかおけがわ館	[埼玉県桶川市]	特定施設(62床)	2022年 8月
6 (仮) さわやか愛知あま館	[愛知県あま市]	特定施設(71床)	2022年 9月
7 (仮) さわやか愛知こうなん館	[愛知県江南市]	特定施設(60床)	2022年 9月

あなたのお悩み話してみませんか？

ひとりで悩まないで！

さわやか相談室



お気軽にどんなことでもご相談ください。
お電話、メールお待ちしております！

電話番号

090-9497-5764

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp